

飯能西中だより



天覧山

10月号

飯能市立飯能西中学校
学校だより
令和4年度 第7号
令和4年10月7日発行

<校訓> 誠・和・進 <学校教育目標> 自立 共生
<目指す学校像> 心のよりどころとなる世界に誇れる学校

勉強という言葉が持つ意味

校長 中村 公一

お彼岸が過ぎキンモクセイの香りが爽やかな秋となりました。新型コロナウイルスの影響によりこれまで中止となってきた多くの催し物ですが、最近になり感染状況の推移を見ながら開催されるようになってきました。先日は飯能第一小学校の校庭で3年ぶりに飯能中央運動会が行われ、地域の大人に交じってたくさんの小中学生が参加している様子をうかがうことができました。コロナウイルス感染症の広がりは今のところ小さいとはいえ、罹ってしまった人の中には倦怠感などの後遺症が抜けにくい人が多いと聞きます。特に中学校にはこれから受験を迎える3年生がいますので、たとえ一人であったとしても校内での感染が広まってしまってもは大変です。緊張感を絶やさぬようにしていかなければなりません。

さて、今、西中学校の教職員は、生徒がお互いに学び合い、より学力を高めることができるようになるためには普段からどのような授業をしたらよいかを考える取り組みを行っています。先日、それに向けた研修会（いわゆる勉強会）を行ったのですが、その中で「勉強」という言葉が話題になりました。

私がまだ子供だったころ、当時はまだコンビニエンスストアやスーパーマーケット、それにショッピングモールとか家電の量販店などといった大型店がありませんでしたから、必要なものがあれば八百屋、魚屋、肉屋、乾物屋などといったお店を一軒ずつ巡って買うのが当たり前でした。あのころは今よりも多くの人々が商店街を利用して、街、人、暮らしの温かい結びつきがあったように思います。例えば今では家電製品を購入する際には最初から量販店を訪ね、既に店頭で値引きされている商品を購入することが多いのではないかと思います。当時は今のように量販店などありませんでしたから、街の中にある電気屋（ナショナル、東芝、日立、三菱…などの看板を掲げたお店）で買い、修理などのアフターサービスまでそのお店にお願いするのが普通でした。電気製品の中には少々高額なものもありますから、そのようなものを買うときには店主と交渉して値引きをしてもらうことになるのですが、その際、私の父などもよく使っていた言葉が「勉強してもらっていくらぐらい」という言い回しです。つまり、「値引きをしてもらう」ことを「勉強してもらおう」と言っていたわけです。「勉強」という言葉をこのような意味合いで使う場合があることを知らない人は意外と多いようです。このように、「勉強」という言葉の中には「本当はしたくないことなのだけど、後々のことを考えて今は我慢して行こう」という意味も含まれているのです。ですから本来の言葉の意味から考えれば、勉強とは苦手なことを我慢して学んだり習ったりすることだと言えるので、勉強が嫌なことであるのは当然のことと言えます。たとえ今は嫌なことであっても、後々のこともよく考えて、今は我慢してやるのが勉強なのだと考えれば、大人になっても勉強したほうが良いことはたくさんあります。勉強は一生続くものなのだと思います。

人は経験し乗り越えた分だけ成長するのです

生徒の皆さんへ

部活動の新人戦が終わりましたね。参加した皆さん大変お疲れ様でした。努力の甲斐あって上位の大会に進むことができる人がいる一方で、惜しくも勝ちを逃した人や、残念ながら相手になかなか歯が立たなくて悔しかったという人もいるかもしれません。体育祭の時にお話したように、長い人生で考えてみると多くの人にとっては勝った回数よりも負けた回数の方が多いのは当たり前のことです。人生で大切なのは勝ち負けの回数ではありません。勝ち負けを通して得たいろいろな思いの量なのです。

人は悔しい思いをした分だけ強くなれます。悲しい思いをした分だけ優しくなれます。つらい思いをした分だけたくましくなれるのです。すべての経験がみなさんの成長につながっています。

部活動の新人戦がありました

新人体育大会入間西部予選（いわゆる新人戦）が、先月21日から22日にかけて開催されました。応援のため各会場にお越しくださいました保護者の皆様方に心よりお礼を申し上げます。大会の前日に行われた壮行会はもちろんのこと、当日訪れたどの会場においても2年生を中心として凜とした姿を垣間見ることができました。試合の結果については下表のように様々ですが、新しいチームはまだまだ伸びしろがあります。保護者の皆様には引き続きご支援をくださいますようお願い申し上げます。

ところで最近、**部活動の地域移行**が大いに話題となっています。長野県にある私の実家のすぐ近くの中学校では既にほぼすべての部活で地域移行を完了しているのですが、ここまでくるのに平成14年から18年の歳月がかかったということです。今後、部活動の運営を続けていくためにはどうしても保護者の皆様や地域の方のお力をいただかなくてはなりません。具体案が示されるまでにもう少し時間がかかるものと思われませんがその際には何卒ご理解とご協力をくださいますようお願い申し上げます。

新人体育大会（9月21日、22日実施）における各部の成績

陸上競技	2年女子 100 m (葛西), 男子 800 m (石森)、男子 1500 m (石森) 以上県大会出場者
野 球	1回戦で高麗高根と対戦 7-0 で勝、2回戦で飯能一中と対戦 5-6 で惜敗 3位
ソフトボール	高麗川中と対戦し 10-6 で勝ち上位大会へ出場
サッカー	1回戦で加治中と対戦 2-0 で勝、準決勝で3校合同チームと対戦し 0-0 (延長 0-1) で惜敗 3位決定戦で飯能一中と対戦し 1-0 で勝ち 3位
男子テニス	個人戦：松尾・高橋 ベスト16 団体戦：1回戦 原市場中 勝利 2回戦 飯能一中 惜敗
女子テニス	個人戦：初戦敗退 団体戦：初戦敗退
卓 球	個人戦：小池・貝瀬 優勝 県大会出場 横山・齋藤 3位 星野、中原ベスト16 団体戦：優勝 県大会出場
剣 道	男子 団体戦：2位 女子 団体戦：県大会出場 個人戦：齋藤3位 県大会出場 安藤4位
男子バスケット	高萩中と対戦 67-26 で勝 高麗川と対戦 51-76 惜敗 3位
女子バスケット	高根中と対戦 40-85 で惜敗

生徒会役員選挙があります

生徒会役員の任期は1年間ですが、早いものでもう代替わりの時期を迎えました。投票は10月18日です。候補者の皆さんは毎朝、昇降口前のロータリーのところに立って挨拶運動を兼ねた選挙活動をしてきています。候補者の皆さんには「みんなの考えを聴く力」「誠実に向き合う力」「解決するために調整する力」この三つの力のバランスがととのったリーダーになってほしいと思います。



第25回飯能市小・中学校社会科研究展
10月2日（日）に市民会館で今年度の社会科研究展受賞作品の発表会がありました。今年度、飯能西中から出品した作品が社会科部会長賞を受賞しました。
2年B組 板津 千都世
作品名「市内の鉱山巡り」

○ 10月の主な行事予定 ○

1日（土）テスト前諸活動停止期間開始	13日（木）3年生4市テスト
6日（木）中間テスト（1日目）給食なし	18日（火）生徒会役員選挙
7日（金）中間テスト（2日目）	19日（水）入間西部駅伝
8日（土）英語検定（希望者）	25日（火）生徒会任命式（生徒会朝会）
11日（火）全校朝会	28日（金）研究発表（5時間授業）